

患者さんを家族のように愛する・いい医療をより多くの患者さんへ

奈良県西和医療センター情報誌

ファミリー

～みむる～

復刊
第3号
平成29年
2月



ご挨拶

新着情報

診療科紹介:産婦人科

病気のはなし:子宮内膜症

各部門情報:北3階病棟

:薬剤部

西和医療センターだより

公開講座案内



地方独立行政法人 奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター

Nara Prefectural Seiwa Medical Center

病院長からご挨拶



地方独立行政法人
奈良県立病院機構
奈良県西和医療センター
院長 横山和弘

奈良県西和医療センター情報誌「ファミリー～みむろ～」は、平成28年8月に復刊第1号として発刊され、平成28年11月に第2号、そして今回は第3号です。平成27年4月に開設された産婦人科の紹介及びその科に関連した子宮内膜症の話、さらに薬剤部からのケイツーシロップの情報などが掲載されています。

当医療センターの産婦人科は、県立三室病院時代に一時期（約7年間）奈良県立医科大学の産婦人科医局の医師数

減少のため、やむを得ず閉鎖せざるを得なかったとのこと。しかし、地元から産婦人科復活の要求が高まり、ふたたび開設されたと聞き及んでいます。

産婦人科は、当医療センターが最も力を入れている科の一つで、他のどの施設にも引けをとらないスタッフ及び診療内容と自負しています。分娩数も増加し、「いい医療をより多くの患者さんへ（診療理念の一つ）」を目指して、地域住民の皆様方の健康に貢献できるものと確信しております。



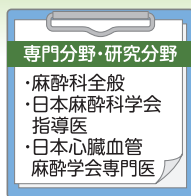
新 着 情 報

1月から赴任された先生方です。よろしくお願い致します。



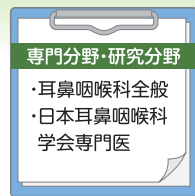
麻酔科医長

おきた としかず
沖田 寿一



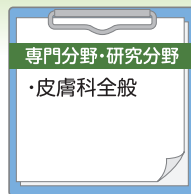
耳鼻咽喉科医員

はすかわ あきひと
蓮川 昭仁



皮膚科専攻医

ありま あい
有馬 亜衣



新型インフルエンザ対応訓練を行いました。

12月5日(月)に、奈良県・保健所・広域消防組合と連携し移送訓練を実施しました。マニュアルに沿った対応の中で、それぞれの役割や今後の課題について検討する良い機会となりました。



2015年4月より産婦人科が開設されています。

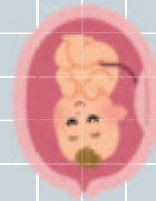
3名の常勤医師および1名の非常勤医師で診療を行っています。
 4名すべて産科婦人科学会の専門医です。
 2名は婦人科腫瘍専門医であり、1名は内視鏡の技術認定医です。



<当センターの産婦人科診療の内容>

女性の生涯における、さまざまな病気の診療を行います。

妊娠・分娩：妊婦健診や分娩管理はもちろん、帰省分娩や妊婦健診のみも行っていきます。



婦人科疾患：良性疾患の診断や治療とともに悪性疾患の診断や治療も積極的に行っています。

月経周期の異常、婦人科感染症、骨盤臓器脱などの診療も行っていきます。



<外来診療担当表>

	月	火	水	木	金
午前	こめだ 米田	手術	ふるかわ 古川	もりおか 森岡	手術
午後	こめだ 米田	こいけ 小池		もりおか 森岡	手術

病気の話

子宮内膜症について

子宮内膜とは、子宮の内腔にある組織で、月経周期に応じて厚くなり、月経時に子宮内腔よりはがれて主に体外に排出され、これがいわゆる月経血です。

この内膜が子宮内腔以外にできてしまう病気を、子宮内膜症といいます。発生部位は、子宮の筋肉内、卵巣の中、骨盤を覆っている腹膜などに多いです。

症状は、月経痛、持続する下腹部痛、腰痛、性交痛などです。これらの症状は、閉経するまで付き合っていかなければなりません。



これらの症状によって、日常生活が楽しくなくなったりすれば、支障をきたす前に産婦人科を受診しましょう。



治療は、お薬から手術まで様々な方法があり、状況に応じて選択できます。



痛みをがまんするよりも、痛みとうまく付き合っていきましょう。

北3階病棟

北3階病棟は平成27年4月1日より産婦人科・女性共用病棟として新しくスタート致しました。

病棟は淡いピンクを基調とした温かみのある空間となっており、一人一人の病状や必要な支援に合わせ、ゆったりと寄り添える看護を目指しています。また、退院後の生活が患者さまらしく生活できるよう、早期から退院支援を行っております。



新生児室

出産は女性や家族にとって特別な機会です。外来通院時からバースプランを聞かせていただき、希望が実現できるよう支援させていただきます。そして、特別な時間となる出産を出来るだけリラックスして過ごしていただくため、分娩がはじまり終了するまで同じ部屋でご家族と共に過ごして頂けるLDR室（陣痛分娩室Labor Delivery Recoveryの略）を設けています。



LDR室

家庭的な雰囲気でご過ごせるようトイレやシャワー室、畳も用意しています。また、産後のアメニティグッズも充実しており、入院持参物品はほとんどありません。

出産直後のお写真と可愛い赤ちゃんの足形を記念のアルバムにしてお渡ししております。患者さまひとりひとりが満足して入院生活を過ごして頂けるようスタッフ一同精一杯お手伝いさせていただきます。



アメニティグッズ



アルバム

薬剂部

知っていますか？赤ちゃんとビタミンK

出血を止めるために必要な「ビタミンK」は、大人では腸内細菌によって作られます。

しかし、生まれてすぐの赤ちゃんには十分な量の腸内細菌がないため、「ビタミンK」が不足しやすくなります。

ケイツーシロップは「ビタミンK」を補給し、赤ちゃんに起こりやすい出血症を防ぐおクスリです。

ケイツーシロップの飲ませ方

ご自宅での飲ませ方

<スプーンで飲ませる場合>

スプーンに原液シロップを少しずつ取り分けて、赤ちゃんの口に流し込んでください。
ほほの内側に垂らす様に流し込むとよいです。



<哺乳びんの乳首で飲ませる場合>

哺乳びんの乳首だけを赤ちゃんにくわえさせて、原液シロップを少しずつ流し込んでください。



<哺乳びんで飲ませる場合>

ミルクが湯冷まし、または母乳にシロップを混ぜて飲ませてください。
量は赤ちゃんが飲みきれの程度(10mL以下)に調整してください。

混ぜても良いもの

- ・湯冷まし
- ・母乳
- ・ミルク



10mL以下で赤ちゃんが飲みきれの量に調整してください。

飲ませ方の注意

- ・使用直前に開封し、1回で使いきってください。
- ・他のお薬と混ぜないでください。
- ・目、鼻、耳に入らないように注意してください。



- こんなときは…
- お薬を吐いたり、飲み残したとき
 - お薬がこぼれてしまったとき

半分以下しか飲んでいないと思われるときは、次回の分を飲ませてください。

次回の分をお持ちでない場合や、追加の使用で足りなくなった分に関しましては、主治医にご相談ください。



必ず哺乳びんやスプーンなどに移して飲ませてください。スティックのまま飲ませると、赤ちゃんのくちびるを傷つけたり、まちがって気道に入るおそれがあります。

飲ませる時期や量は主治医にお確かめください。

ケイツーシロップについてご不明な点は当院薬剂部へご相談ください。

引用:エーザイパンフレット「知っていますか?赤ちゃんへのビタミンK投与」 監修・作成 聖路加看護大学 片岡弥恵子、杉岡寛子 産業医科大学 白幡「ケイツーシロップの飲ませ方」 監修 東京女子医科大学 母子総合医療センター 楠田 聡

●西和医療センターだより●

11月18日【金】に災害訓練を行いました

万が一の災害に備えて毎年訓練を行っています。
日頃からの体制づくりと心構えの大切さを痛感する機会となっています。また訓練当日は来院された皆様にもご迷惑をお掛けいたしました。ご協力ありがとうございました。



当院で職員向け認知症サポーター研修を開催しました



**「職員全員が
オレンジリングをもとう」
キャンペーンを
しています。**



平成28年11月24日（木）三郷町地域包括支援センターのご協力により、当院で認知症サポーター研修を開催しました。

厚生労働省が推進する「認知症サポーターキャラバン」に私たち西和医療センターの職員も、安心して暮らせる街作りに協力するための第一歩として「サポーター」としての活動を始めます。

地域密着型住民公開講座「地域で守るみんなのからだ」を開催しました

場所：平群町健康福祉センター プリズムへぐり

時間：1月12日14時～

「禁煙と生活習慣病～禁煙治療～」

「慢性腎臓病と生活習慣」

講師：平群町 松井内科院長

当院 濱野腎臓内科部長



地域のみなさんからは「禁煙と疾患の関連について」や「慢性腎臓病」に関する質問が数多くあり、健康に関する意識の高さが伝わりました。

今後も皆様のご意見を聞きながら、公開講座を開催していきます。

●公開講座案内●

地域の方対象 公開講座

地域密着型住民公開講座のお知らせ

4月13日(木) 14:00～15:30

地域で守るみんなのからだ

場所:奈良県安堵町福祉保健センター

講演テーマ・講師

「高血圧とクスリの話

～先生、このクスリ、いつまで飲むんですか?～」

山内醫院 院長 山内優美先生

「心臓の話」

西和医療センター

循環器内科医長

藤本 源



医療職の方 対象の講座

地域医療連携講座(当院にて)のお知らせ

2月16日(木)

前立腺肥大の治療

3月9日(木)

高齢者と骨折

疼痛管理



※詳細は患者支援センターに
お問い合わせ下さい

<当院へのアクセス>



病院前道路からのview

「ファミリー」は年に4回の発刊を予定しています。地域の皆様の健康に役立ち、親しまれ愛される紙面作りをめざしていきます。

住民の皆様役に立つ情報・当院との連携についてなど、地域の登録医の先生方の投稿をお待ちしています。詳細は地域医療連携室へお問い合わせください。

発行・編集

奈良県西和医療センター情報誌

発行日 平成29年2月1日

編集者 地方独立行政法人奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター 患者支援センター

〒636-0802 生駒郡三郷町三室1-14-16

TEL:0745-32-0505(代表) FAX:0745-31-1354

